

横倉山生物総合調査中間発表～クモ類～

芹田凌平(高知大・院・理工)

方法

今回の調査では主にルッキング(目視による採集)、シフティング(ふるいを用いた採集)、ビーティング(バットを用いた採集)にてクモ類を採集した。また、FITトラップに入ったクモ類を提供していただいた。

調査は2019年9月、2020年6・8・10・11・12月に行った。

調査地点

- ・第三駐車場から三角点周辺(19年9月、20年6・11・12月)
- ・坂折川河川敷(8月)
- ・横倉山自然の森博物館周辺(10月)
- ・平家穴(11月)
- ・星の滝洞窟(12月)

結果

現時点で確認されているクモ類は23科79種

その内、成体は19科54種、幼体のみは9科13種、同定保留は4科5種、未記載種を含む不明種は4科7種

高知県新記録は4種確認

特筆すべき種(高知県新記録)

カンサイオオイヤマケシグモ *Ryojius occidentalis*

高知県では横倉山でのみ確認



左メス、右オス

ノコバヤセサラグモ *Lepthyphantes serratus*

高知県では横倉山の他2地点で確認



左オス、右メス

ヒメアシダカグモ *Sinopoda stellatops*

高知県では横倉山の他11地点で確認



メス交尾器(外雌器腹面)

オス交尾器(右触肢腹面)

オオクマヒメドヨウグモ *Diphyia okumae*

高知県では横倉山の他1地点で確認
横倉山では幼体のみ確認



幼体

今後

高知県からは45科457種(2020年時点)のクモ類が記録されているので、横倉山のクモ類は少なくとも200種は超えると思われる。

今回、調査時期に偏りがあったため、確認種数が100種を超えなかった。今後調査を継続していくことで、多くのクモ類が確認されると考えられる。特に調査を行っていない時期は未確認種が見つかる可能性が高いので、調査を行うようにしていきたい。

謝辞

今回の調査では近藤英文氏(株式会社相愛)、辻雄介氏(株式会社相愛)、寺山佳奈氏(高知大学大学院)、黒岩拓真氏(介良中学校)に標本を提供して頂きました。御礼申し上げます。